

良質の梅はこうしてできる

日本の各地で栽培されている梅ですが、収穫量が最も多いのは和歌山県。全国の62%を占めており、2位の群馬県(6%)、3位の奈良県(2%)を大きく引き離しています(2017年時点)。

和歌山で特に梅の栽培が盛んな地域が、県の中部に位置する、みなべ町です。ここで栽培されているのが、大粒で果肉が厚く柔らかい「南高^{なんこう}」という品種です。これは、梅農家が塩漬けと天日干しを施したうえで出荷する「梅干し」の、最高級品種として知られています。ちなみに南高梅は、生のままの「青梅^{あおうめ}」としても出荷されており、梅ジュースや梅ジャム、梅酒の材料としても人気があります。



収穫期を迎えた南高梅の実



青梅として出荷する実を収穫



和歌山県みなべ町の里山に広がる梅畑